

Z50-J STREET MUFFLER Fit 取扱説明書

商品番号	04-02-244 (キック無し)
	04-02-245 (キック付き)
適合車種	モンキー・ゴリラ
フレーム号機	Z50J-1300017～

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。このマフラーは、長年にわたるモンキー・ゴリラの開発で得たノウハウを駆使し設計、製造しております。8インチSTD車両に合わせ、デザインをしましたので、バンク角も十分確保しました。又、あらゆるユースに対応し、扱いやすい特性にしております。ただし、STDキックスターターアームは、使用不可になりますので、予めご了承下さい。STDマフラーとは異なったサウンド、スタイルをお楽しみ下さい。

☆正しく安全にご使用して頂く為に必ずお読み下さい☆

- ◎このKITはSTDキックスターターアームが使用できません。09-10-002のキックスターターアームが必要となります。(又は、モンキーR用キックスターターアーム)
- ◎エキゾーストパイプとマフラーとのジョイント部に耐熱液体ガスケットの使用をお勧めします。
- ◎マッチングに関しては、当社製以外のパーツのことは、返答できません。
- ◎このKITは、バックステップが使用できません。(当社製) 予めご了承下さい。
- ◎サイレンサーリヤー部のパイプに衝撃を与えないで下さい。破損します。

⚠ 注意

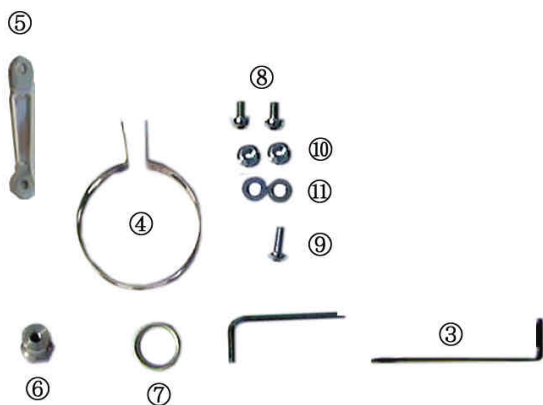
此の表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を、示しています。

- 一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 此のマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は容易に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。
(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行ってください。
(マフラーのヒビ割れの原因となります。)
- 車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- JICAカードに明記している規定値は、エンジンがノーマルの状態での規定値です。エンジンパーツを交換および改造している車両は、JICA認定外になります。又、マフラーを、分解、加工、改造した場合もJICA認定外になります。

⚠ 警告

此の表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。
(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- 走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。
(転倒につながる恐れがあります。)
- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジンおよびマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。
(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- 此のマフラーは、ダウンマフラーですのでSTDマフラーに比べ最低地上高が低くなります。走行中は、路面の凸凹に注意して走行して下さい。
(マフラーの破損、転倒につながる恐れがあります。)



No.	Description	QTY
1	エキゾーストパイプ COMP	1
2	マフラーボディ COMP	1
3	ステー	1
4	クランプバンド	1
5	ハンガーブラケット	1
6	ピボットナット	1
7	エキゾーストパイプ ガasket	1
8	ボタンヘッドスクリュー M8×15	2
9	ボタンヘッドスクリュー M8×20	1
10	フランジナット M8	2
11	プレーンワッシャ 8mm	2
TOOL	レンチ 5mm	1
	JMCAカード	1

- ◎性能UP、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
- ◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きま。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
- ◎此の取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は、その賠償の責を一切負いかねます。
- ◎此の製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎他社製品とのマッチングのお問い合わせは、ご遠慮下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

取 り 付 け 要 領

STD部品取り外し

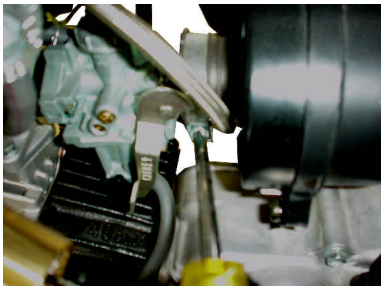
1.



o エアクリーナーステー部の
ボルトを取り外す。

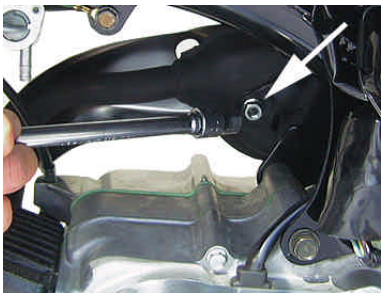
△注意：必ず冷間時に行うこと。

2.



o キャブレターとエアー
クリーナーとをクランプして
いるバンドを緩め、エアー
クリーナーを取り外す。

3.



o マフラー本体裏側に止まっ
ているナットを取り外す。

4.



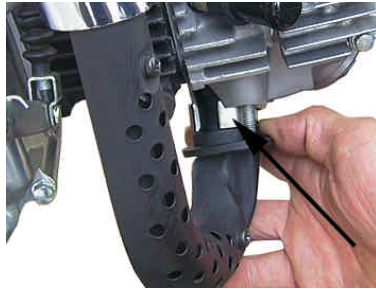
o EXパイプ部のナット2個
を取り外す。

5.

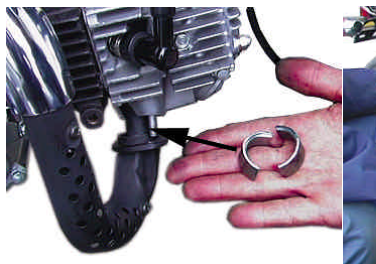


o マフラー本体を止めている
六角ボルトを取り外す。

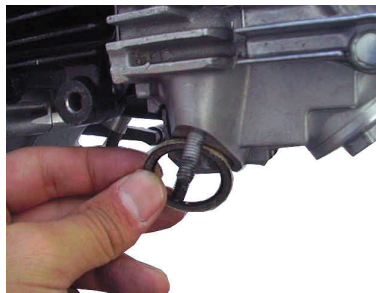
6.



o フランジのカラー2個を取
り外し、外側に引く様にして
マフラーを車体から取り外
す。

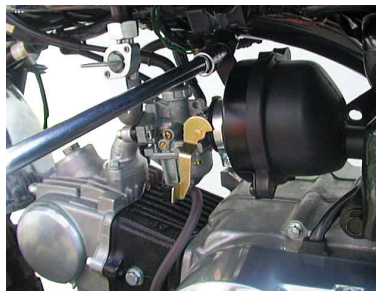


7.



o EXポート部に入っている
古いエキゾーストガスケッ
トを外す。

8.



o 取り外したエアークリー
ナーを、取り外しと逆手順
で取り付ける。

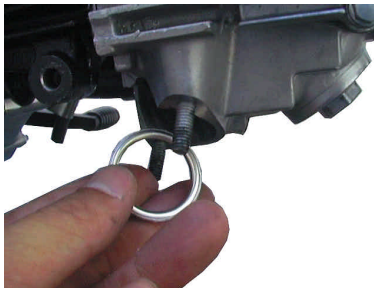
∴ 12V車は、アース線の取
り付けを忘れないこと。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 0.8 \sim 1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

マフラー取り付け

9.



○KIT内の新品のエキゾーストパイプガasketをEXポート部にさし込み取り付ける。

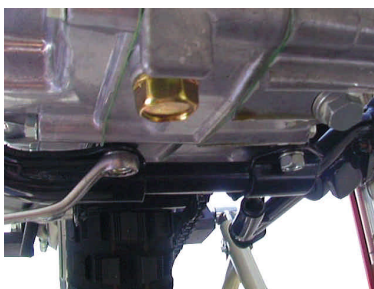
10.



○メンテナンススタンド等で車両を安定させます。

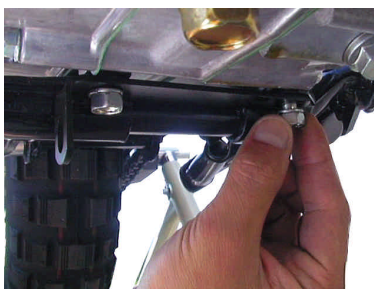
⚠警告：水平な場所で車両を安定させること。

11.



○ステップバーCOMP前方のM8ボルト2本を取り外す。

12.



○取り外した部分に、KIT内のステーを取り外したボルトを用いて、取り付け仮締めします。

13.



○エキゾーストパイプCOMPをシリンダーヘッドEXポート部に差し込み、STDナットを用いて仮締めします。

14.



○エキゾーストパイプCOMPのステーを取り付けたステーに、KIT内のプレーンワッシャ、ボタンヘッドスクルーM8×15、フランジナットで仮締めします。

15.



○シリンダーヘッドEXポート部のSTDナットを均等に規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 1.0 \sim 1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

16.



○ステップバー部に取り付けたステーのM8ボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 3.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

17.

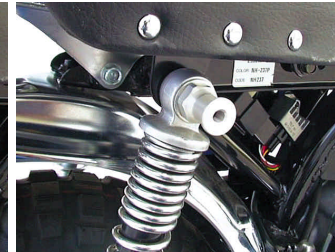


○エキゾーストパイプCOMPとステーを取り付けたボタンヘッドスクルーを、規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 2.4 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

18.



○右側リヤショック上部のナットを取り外し、KIT内のピボットナットを取り付け、規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

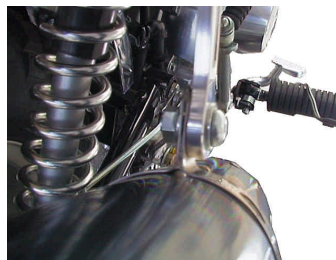
$T = 3.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

19.



o 取り付けピボット部にKIT内のハンガーブラケットをボタンヘッドスクリューM8×15を用いて仮締めします。

20.



o マフラーボディーCOMPをエキゾーストパイプCOMPに差し込み、サイレンサー部をクランプバンド、ブレンワッシャ、フランジナットを用いて仮締めします。

∴ 差し込み部分に耐熱液体ガスケットの塗布をお勧めします。
(スリーボンド 1207B 相当品)

21.



o ハンガーブラケット上部ボタンヘッドスクリューを規定トルクで締め付けた後、下部クランプバンド部のボタンヘッドスクリューを規定トルクで締め付けます。

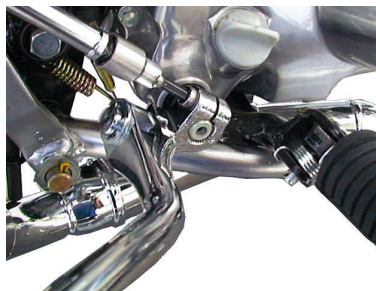
△注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 2.4 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

22.



o STDキックスターターアームのM6ボルトを取り外し、キックスターターアームを取り外します。

23.



o 09-10-002キックスターターアームを、キャップスクリューを用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m}$

24.



o マフラーサイレンサー部のJMCAプレートの保護フィルムをはがします。

25.

o マフラーに付着した汚れをよく拭きとります。

26.

o エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認します。

△警告：必ず換気の良い場所で行うこと。

27.

o 各部をもう一度規定トルクで増し締めします。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

△注意：必ず冷間時に行うこと。